



保護者の皆様からのお便り

学年通信スクラムに関して、保護者の皆様から多数のお便りをいただきました。ありがとうございます。保護者の方からのお便りも掲載しながら、いろいろな進路情報や疑問点や子育てや生徒の様子などの情報が共有できるように考えています。「読みました」だけでも構いません。お忙しいところ、誠に申し訳ありません。引き続き、お便りをくださいますよう、よろしく願いいたします。お便りについてご紹介いたします。

- ・読みました（複数）
- ・いつも大変お世話になっております。中学校最後の1年間、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・中学校生活最後の年、今できること、やるべきことをしっかり正面から向き合って頑張りたいです。きっと充実した楽しい中学生活となることでしょう。（コロナでも）1年間宜しく願います。
- ・中学校最後の1年を楽しく過ごしてほしいと思います。
- ・委員会に入ったと帰宅して話してくれました。中学校最後の1年、積極的に自分に自信を持って成長できたらなと思います。まずは第1歩かなと感じています。がんばれ！！
- ・1人1人が協力して積極的に取り組んでもらいたいです。
- ・委員会、教科係がきまり、責任を持って他人にまかせず、協力し合ってやって行けたらいいですね。
- ・3年生なって教科書と問題集とさらに3年間の総まとめ問題集も持って帰ってきました。重くて大変そうですが、がんばってほしいです。
- ・新学年が始まりましたが、色んな事、頑張りたいです。
- ・スクラムに目を通した後になくしてしまいました。（学校より）再発行いたしますので、遠慮なく連絡ください。

進路情報 ～『7つの習慣』～

7つの習慣とはスティーブンRコヴィ氏が提唱したもので世界では3000万部売れ、日本では200万部売れた本です。自分の夢や目標を実現した人達に共通する習慣をまとめたものです。人生全般に共通の成功法則について書かれています。個人を「依存」状態から「自立」へ、「自立」から「相互依存」状態へと導く7つの習慣的な行動の必要性を説く内容になっています。時代にとらわれない普遍的かつ具体的な内容を論理的にまとめていて、内容は次のようなものです。

- ☆第一の習慣・・・**主体的である 自分が選択する**
自分の身に起こることに対して自分がどういう態度を示し行動するかは、自らで決めることができる。より良いものを持つのではなく、自分がより良くなる。失敗したときに、自分の間違いを認め修正をはかる。
- ☆第二の習慣・・・**終わりを思い描くことから始める**
人生には目的が必要です。目的のない生き方をしていると「はしごを間違った場所に掛けたまま、一生懸命に登る」ことになってしまいます。
- ☆第三の習慣・・・**最優先事項を優先する**
第2の習慣を身に付けたなら、それを具現化し、自由意志を発揮し、毎日の場面において実行する。効果的な自己管理を行う。重要だが緊急でない活動を行う。重要でない活動に対してノーと言う。人に仕事を委任する。
- ☆第四の習慣・・・**Win-Win（相互が納得する案）を考える**
人間関係における「自分を押し通す」「お人好しになる」、「とにかく相手に損をさせる」、「勝つことだけを考える」と比べたとき、「Win-Win（相互が納得する案）」だけが相手との長期的な関係を実現できることがわかります。
- ☆第五の習慣・・・**まず理解に徹し、そして理解される**
まず相手を理解するように努め、その後で、自分を理解してもらうようにする。自分が他人に影響を与えるために、自分が他人に影響される。
- ☆第六の習慣・・・**シナジー（相乗効果）を創り出す**
相乗効果とは、全体の合計が各部分の和よりも大きくなるということである。自分と他人との意見に相違が生じた時に、自分の意見を通すのではなく、他人の意見に折れるのでもなく、第三案を探し出す。自分と他人との相違点を尊ぶ。
- ☆第七の習慣・・・**自分を磨く**
人の持つ4つの資源（肉体、精神、知性、社会・情緒）を維持し、日々磨く。

切---り---取---り
いつもご理解とご協力をたまわりありがとうございます。ご意見やご質問、ご感想や生徒の家庭での様子や会話など何でもかまいませんので、お寄せください。「読みました」だけでもかまいません。「お名前」は生徒の名前をお書きください。よろしく願いいたします。 5号
お名前（ ）